



主な取組

行田創生に向けたこれまでの“まちづくり”

～古いものを大切にしながら、新しい文化を生み出す～

ふるさとづくり事業



牧禎舎

足袋蔵などの貴重な歴史的建築物の保存と活用を図るため、それら建築物をNPO法人などの団体が改修し、公共性のある活用を行う事業に対して、最大2千万円の助成を行っています。

この事業の財源には、国の外郭団体からの補助金やふるさと納税の寄附などを活用しています。

行田らしいまち並みづくり事業



北谷通り

ふるさとづくり事業の助成を受けて整備された牧野本店が面する北谷通りなど、行田市駅周辺の歴史的街路やまち並み景観の整備を、平成27年度から国の社会資本整備総合交付金を活用して進めています。

地域に点在する足袋蔵などの歴史・文化遺産を活かした良好なまち並み景観を整備し、賑わいを創出します。

「足袋のまち行田」活性化プロジェクト



平成28年10月に、市・商工会議所・市内の足袋事業者などによる「足袋のまち行田」活性化推進協議会を立ち上げました。

国の地方創生推進交付金を活用し、3カ年事業として、足袋製品の販路拡大、新商品の開発、イベントなどを通じた「足袋のまち行田」のPR活動などの事業を推進しています。

旧忍町信用組合店舗の移築・改修事業



市が寄附を受けた市指定文化財で、行田の足袋産業を支えた旧忍町信用組合店舗を、国の地方創生拠点交付金などを活用して水城公園東側園地に移築し、改修・復原を今年度進めています。

歴史的建築物の魅力を活かすとともに、市民が交流できるカフェとして整備・活用することでまちなかの賑わいを創出します。